

OB通信

鳳 羽

復刊第9号

= 2011年12月 =

山口大学ワンダーフォーゲル部OB会

目次

はじめに-----	2
本部・支部連絡先-----	3
会長就任に当たって-----	4
第1章 2011年総会（報告）	
1 2011年総会（概要）-----	5
2 2010年OB会会計決算報告-----	6
3 監査報告書-----	7
4 2011年OB会会計中間報告-----	8
5 創部50周年記念誌の発行について-----	9
6 会則の改正及び役員選出要領の改正について-----	10
7 会則（改正後の会則全体）-----	11
第2章 会員近況・活動報告	
1 古希記念登山(東京支部)-----	13
2 近場散策の巻(関西支部)-----	15
4 「30年前に戻った気分を味わえた！」（山口支部）-----	16
5 近況報告ということで・・・(九州支部)-----	17
第3章 現役活動報告	
1 現役活動報告-----	18
第4章 事務局からOB会員の皆様へ	
1 OB会費納入について-----	19
2 入会、脱会について-----	19
3 Y.U.W.V ホームページ-----	19
4 OB会ホームページ利用について-----	19
5 編集後記-----	20

はじめに

OB 会会長 山本充二

こうして今生きているだけでもありがたい…巨大津波をかろうじて免れた被災者の言葉。一瞬のうちに多くの生命が無くなり、家族、友人が無くなり、普段の生活が無くなった東日本大震災の惨劇に、命のはかなさを感じさせられました。失ってはじめてわかる健康のありがたみ、当たり前のように思っていた日々の営みの大切さも改めて教えられたこの一年でした。迎える新年が、各位にとって平穏で希望に輝くものとなりますようにと願う次第です。

さて、ワングル創部50周年を記念した2011年OB総会・祝賀会を去る11月5、6日山口県秋吉台で開催しました。現役部員23名を含む141名というこれまでにない多数の参加を得て大いに盛り上がり、大円陣で肩を組みながらの大合唱は、まさに50年のワンダラーの心が一つとなって広い会場に響きわたり、感動的でした。両日ともあいにくの霧雨模様で、秋吉台の眺望には恵まれませんでした。様々な企画で会を催し御世話頂いた山口支部の皆様には、改めて感謝、お礼を申し上げます。

このたびの総会は、別紙のとおり行い、特に次の事項が決定されましたので、ご承知、ご協力の程お願いします。

1つは、ワングル創部50周年記念誌の発行を2012年7月に予定し、会員の皆様からの原稿や写真を募集しておりますので、同年4月までにお寄せ下さい。

2つ目は、2012年の総会は九州（福岡）支部の引き受けで開催されることになりました。具体的な日程・場所は夏のOB通信でお知らせします。

3つ目は、OB会の連絡網の充実を図るため、各年度ごとに世話人を設定することとしましたので、ご協力の程お願いします。

4つ目は、2012年1月からのOB会会長に九州支部長の武富敏夫さんが選出されました。また総会后日、新会長により山口支部長の池富士清さんが副会長に選任されました。

山本・田村の在任中のご協力に感謝、お礼を申し上げますとともに、新体制のもとに本会がますます発展することを期待しております。

《役員・事務局の変更：2012年1月から》

	(旧)		(新)
会 長	山本 充二	→	武富 敏夫
副会長	田村 伊正	→	池富士 清
事務局長（学生）	菊池 武臣	→	馬屋原範聡

== 本部・支部連絡先(2012年) ==

(本部)

OB 会会長

武富 敏夫 (経・45卒)

OB 会副会長

池富士 清 (農・47卒)

OB 会事務局長

馬屋原

(東京支部)

支部長 城戸 賢嗣 (経・49卒)

事務局長 宮原 龍作 (経・50卒)

(関西支部)

支部長 池田 純 (工・51卒)

(山口支部)

支部長 池富士 清 (農・47卒)

連絡先：OB 会副会長に同じ

(九州支部)

名誉支部長 永沼 嗣朗 (経・39卒)

支部長 武富 敏夫 (経・45卒)

連絡先：OB 会会長に同じ

事務局長 龍 純二 (文理・50卒)

鳳翔会会長就任に当たって

平成23年11月30日
昭和45年3月経済学部卒
武富敏夫

本年は、山口大学ワンダーフォーゲル部が創立され50年の節目を迎え、山口支部主催により11月5日(土)～6日(日)に、50周年記念式典とともに総会が開催されました。全国各地から参加された皆さまご苦労さまでした。また、総会の企画運営にご尽力いただいた山口支部の会員はじめ関係者の皆さまに改めて感謝申し上げます。総会で決議された「あるきの記YUWV創部50周年記念特別号」は、現在、山口支部において発行の準備が進められています。会員の皆さまには、編集企画責任者から原稿依頼等があるかと思いますが、ご協力のほどよろしく申し上げます。

さて、私は、本総会の決議により次期鳳翔会会長として予選され、来年1月より2年間皆さまのお世話をすることになりました。本来であれば、現役部員の近くの山口支部から会長が選出されることが望ましいことと思いますが、山口支部の会員及び現役部員の皆さまと連携を取りながら、鳳翔会運営に当たって参ります。会員の皆さま、OB会と現役部員に対し今後ともご支援をよろしく申し上げます。

OB総会は平成14年から東京支部立ち上げとともに、各地域の持ち回りの総会開催が定着し、今年で10年となりました。回を重ねるたびに各地域の特色を生かした総会運営がおこなわれ、OB会としての体制が整えられて参りました。一方、会員の方へ目をやりますと、北は東北から南は九州まで全国各地に会員が活躍されています。現在、年会費を納入している方が、会員資格要件となっているため、年会費の有効期限が過ぎた場合、OB通信が送付されませんので、自動的に会員資格を失い、その時点でOB会との関係が途絶えることとなります。総会開催の都度あるいは各支部活動で、OB会への入会を呼びかけているとは思いますが、まったくフォローがない場合は、会員数の減少につながっていくのではないかと考えます。過去に作成されたOB会会員名簿によると、この50年間に山口大学ワンダーフォーゲル部に、何らかの形で在籍されていた方は、700名近くに達します。皆さまの現役時代の活動が、山口大学ワンダーフォーゲル部の50年の歴史となりました。現状、会員の動静等の情報は把握できているものの、この50年間に山口大学ワンダーフォーゲル部に在籍していた方の名前や動静が正確に把握できていません。今回こうしたことを踏まえ、各年の代表者の方の選任をお願いしたのではないかとと思いますが、ご賛同を得られた方は約半数であると聞いています。諸般の事情から、OB会とはかかわりたくないという方もいますが、各年の代表者を含め関係者の方から「縦」と「横」の情報をいただきながら、全体の在籍者の整備をおこなう時期にきているのではないかと考えているところです。

本年は3月11日に発生した東日本大震災やその後の台風等の自然災害とともに、原発問題へ対応等、課題が多く発生した1年でした。OB通信が皆さまのお手元に届く頃は年末のあわただしい日々をお過ごしのことと思いますが、来年が良い年であり、ご健勝であることを祈念いたします。

私は、福岡支部長も兼務することになっています。来年は福岡支部が総会開催を引き受けしますので、皆さま、是非福岡の地へお越しください。お待ちしております。

第1章

[2011年OB総会の報告]

2011' YUWV OB会 鳳翔会 総会 (概要)

秋吉台「秋芳ロイヤルホテル秋芳館」

2011. 11. 5 (土) 16:30~17:30

- 1 開 会 (司会進行：山口支部 原 秀樹)
- 2 会長挨拶 (山本会長)
- 3 議長選任 (議長：山口支部 肥塚光志)
- 4 議 事
 - (1) 2010年事業報告及び会計報告 (田村副会長)
別紙のとおり承認
 - (2) 2010年会計監査報告 (池富士監査役)
別紙のとおり承認
 - (3) 2011年事業中間報告及び会計中間報告(田村副会長)
別紙のとおり承認
 - (4) YUWV 創部 50 周年記念誌の発行について (実行委員長：古谷眞之介)
別紙のとおり承認
写真及び原稿の協力を依頼 (募集期限：2012年4月)
 - (5) 2012年総会開催地について
九州 (福岡) 支部の引き受けで開催が決定
 - (6) 役員改選について
次期 (2012年1月～) 会長に九州支部長の武富敏夫氏を選出
 - (7) 会則の改正及び会長等役員選出要領の改正について (山本会長)
別紙のとおり承認
改正後の会則は別紙のとおり
 - (8) その他
 - ・OB会の連絡網の充実を図るため、各年度ごとに世話人を設置することを決定
今後世話人の引き受けが決定した場合、OB 会員名簿にその旨表示
 - ・OB会費の納入依頼、OB 通信整理ミスのお詫びなど

5 議長解任

6 閉会

- ・ 連絡事項 (祝賀会 18:30～、二次会など)

《ワンゲル創部50周年記念祝賀会セレモニー》

- ・ 山口大学長から祝賀メッセージ (代読：ワンゲル部顧問 田中秀平教授)
- ・ OB会からワンゲル部に50周年記念装備品目録 (20万円相当) 贈呈
- ・ 創部期を振り返って、永沼嗣郎(39年経卒)さんからメッセージ、堀和敏(38年工卒)さん、境原直毅 (40年経卒) さん、木山克彦 (42年農卒) さんからそれぞれスピーチを頂きました。

YUWV 創部 50 周年記念誌の発行について

1 記念誌の発行の趣旨

創部 50 周年を機に YUWV の 50 年を振り返ってしっかりした記録を残し、同時にさらなる 50 年に向かつての礎として記念誌を発行する。記念誌は、正会員はもとより、山口大学図書館、県立図書館、山口/宇部市立図書館および中四国大学ワンダーフォーゲル部に寄贈する。

2 記念誌のタイトル (予定)

「あるきの記 山口大学ワンダーフォーゲル部創部 50 周年記念特別号」

3 構成内容 (予定)

第一部 依頼原稿

学長や会長等からの祝辞

第二部 募集原稿

広く会員より現役時代の思い出、現在の山との関わりなど自由テーマで

第三部 YUWV50 年史の作成

年度別の部員情報、合宿場所、特記事項等を極く詳細に年表化する

第四部 テーマ構成

「鳳翻山今昔物語」「ワンゲルレシピ集」「ワンゲル用語集」「装備あれこれ」等

第五部 思い出の写真

広く会員より「私のベストワン」の写真を募集して写真集を作成

第六部 会員名簿

4 編集発行スケジュール

2011/12 原稿、写真受付開始、2012/3 同締め切り、2012/4 編集開始、2012/7 完成

5 予算

OB 会会計よりの支出予算 約300,000 円を予定 (部数 300 部)

6 協力依頼事項

募集原稿執筆、「ベストワン写真」の提供(スキャン写真をメールで送付希望)、ワンゲルレシピ、用語、装備等の情報提供をお願い致します。

7 照会・連絡・提出先

基本はメールでお願い致します。

古谷眞之助 (昭和 52 年経済卒)

以上

山口大学ワンダーフォーゲル部OB会「鳳翔会」 会則の改正

1 改正内容

(会則第六章第一項)

《現 行》 本会には次の役員を置く。役員任期は二年とする。但し再任は妨げない。

《改正(案)》

本会には次の役員を置く。役員任期は二年とし、再任を妨げない。

但し、会長の再任は一回限りとする。

2 改正の趣旨

会長職の任期の最長限度を設けることにより、負担感を軽減し職務執行意欲の増進を図るとともに世代交代の円滑化に資するため。

鳳翔会 会長等役員選出要領の改正

1 改正内容

《現 行》

1 新たに会長を選任する場合、次の要領で行うものとする。

(1) 選考委員会を設けて、候補者を予め選考し、総会に諮り決定する。

(2) 選考委員会の構成は、直前会長・副会長、現会長・副会長、各支部長、監査とする。 (3)

候補者の選考は、総会に付議する3か月前までに行う。

2 新たに選任された会長は、必要に応じ、副会長等その他の役員(支部長を除く)を選任し、直近の総会又はOB通信等で会員に報告するものとする。

《改正(案)》

上記(3)の次に、(4)を加える。

(4) 会長は、原則として山口支部在籍の会員から選考するものとする。他支部在籍の会員から選考する場合は、本部事務局との円滑な連携連絡が図られるよう山口支部 から副会長等が選任されるよう配慮するものとする。

2 改正の趣旨

執行部役員と事務局・現役部員との円滑な連携連絡を確保するため。

山口大学ワンダーフォーゲル部OB会「鳳翽会」会則

(名称)

- 第一章 本会は山口大学ワンダーフォーゲル部OB会 鳳翽会（略称 鳳翽会）と称する。
- 二 事務局は山口大学ワンダーフォーゲル部内に置く。

(目的)

- 第二章 本会は会員相互の親睦を図り、山口大学ワンダーフォーゲル部の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

- 第三章 本会は第二章の目的達成のために次の事業を行う。
- 二 会員相互間の親睦に関すること。
- 三 山口大学ワンダーフォーゲル部に対する援助、指導助言等。
- 四 会報及び会員名簿の発行。
- 五 その他本会の目的達成のために必要と認められる事業。

(組織)

- 第四章 本会の会員は次の通りとする。
- 二 正会員 山口大学に在学中に山口大学ワンダーフォーゲル部に在籍した経歴を有し、且つOB会に入会の意志を表明した者。
- 三 準会員 山口大学体育会ワンダーフォーゲル部員。
山口大学学友会ワンダーフォーゲル部員。
- 四 正会員たる有資格者の入会及び脱会は自由とする。入会の意志表示は会費の納入をもってこれに代え、脱会はその意志の表明で認め、総会に報告する。
- 五 本会に次の支部を置く。
東京、関西、山口、九州

- 第五章 正会員は次の場合、その資格を失う。

- 二 会費滞納者には半期（半年）毎に督促状を送付し、督促状三回をもって自動的に正会員の資格を失う。
但し、再度入会の意志表示があった場合はこれを認める。
- 三 会員としてふさわしくない行為のあった者。

- 第六章 本会には次の役員を置く。役員の任期は二年とする。但し再任は妨げない。但し、会長の再任は一回限りとする。

- | | |
|-------|-------|
| 二 会 長 | 一名 |
| 副 会 長 | 一名 |
| 支 部 長 | 各支部一名 |
| 会 計 | 一名 |

監 査	二名
事務局長	一名
H P 管理者	一名

- 三 会長は会を代表し会務を総括する。
- 四 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代行する。
- 五 支部長は支部を統括する。各支部はその必要に応じて幹事等の役員を置く。
- 六 事務局長は山口大学ワンダーフォーゲル部の直前主将が務める。
但し、直前主将に支障あるときは直前の副主将または直前主将が指名する者がその任に当たる。
- 七 役員任期は一月一日から起算する。なお、任期終了後も次期役員の出選まではその任を継続する。

(総会)

第七章 総会は次の通り開催する。

- 二 定期総会は年一回とし、必要に応じて臨時総会を開催する。
- 三 総会は会長が招集する。
- 四 総会への出席は委任状をもって代えることができる。
- 五 議事は総会の出席者（委任状を含む）の過半数で議決する。

(会計)

第八章 本会に会計を設け、会費及び寄付金、その他事業収入をもって会の運営費に当てる。

- 二 正会員の会費は年二千円とし、五年単位の一括納入を認める。
但し、夫婦とも正会員の場合は夫婦二人で年三千円とする。
- 三 寄付金は一口千円とし、常時受け付ける。
- 四 会計報告は監査報告と併せ、年一回定期総会で行う。
- 五 会計は毎年一月一日をもって始まり十二月三十一日に終わる。

(その他)

第九章 本会則は総会出席者の三分の二の賛成を得て改正することができる。

(附則)

第十章 本会則の発効をもって昭和四十三年十二月制定のOB会則はこれを廃棄する。

- 二 本会則は平成十四年十月五日から発効する。
- 三 本会則は平成十九年十一月十日から発効する。
- 四 本会則は平成二十一年十月三日から発効する。
- 五 本会則は平成二十三年十一月五日から発効する。

第2章

会員近況・活動報告

還暦1年後から始めた富士山登山を毎年続け、目指すは10回目

古希記念登山

東京支部 昭和47年卒部 恵谷 浩(えや ひろし)

60歳会社定年退職後1年目に初めて行なった富士山登山を毎年続けています。

① 2004年9月1～2日 単独行：

自宅を早朝に出て河口湖五合目(2305m)発、本八合目山小屋・トモエ館(3370m)泊。山頂久須志神社(3700m)で御来光を迎えたが、山頂付近のみの雲と猛烈な強風のため、太陽は見えオレンジ色に輝く雲が左右・斜め・上下に吹き荒れるばかり。数十秒毎に砂塵が顔に吹き付け痛いので手で顔を覆い防護。そのまま河口湖五合目へ下山。

② 05年9月16～17日 単独行：

河口湖五合目発、八合目山小屋・太子館(3040m)泊。山頂久須志神社で御来光、お鉢巡り右回り。終日雲ひとつない快晴で、北ア・南ア・中央ア・八ヶ岳連峰などを望み、剣ヶ峰(3776m)では北ア・槍ヶ岳がよく見えることにも気付く。河口湖五合目へ下山。

③ 06年8月26～27日 YUWV・OB会東京、城戸支部長・宮原事務局・熊谷さん・三浦さんと同行：

河口湖五合目発、本八合目山小屋・富士山ホテル泊。久須志神社で御来光、お鉢巡り右回り、晴天に近かったが剣ヶ峰では霧が出て眺望悪く残念。河口湖五合目へ下山。

④ 07年9月19～20日 単独行：

河口湖五合目発、八合目山小屋・元祖室(3250m)泊、このとき初めて夕陽による影富士を望む。久須神社で御来光。お鉢巡り初めて左回り、初めて朝日による影富士。終日快晴で、剣ヶ峰近くで初めての万年雪を望み、河口湖五合目へ下山

⑤ 08年9月5～6日 YUWV・OB会東京とその同行者3名を含み城戸支部長・宮原事務局ら総勢14名と同行：

河口湖五合目発、八合目・元祖室泊。朝方の天候やや悪く山頂久須志神社では雲の合間から御来光を仰ぐ。お鉢巡り左回り、八ヶ岳・中央ア・北ア連峰などを望み、朝日によるやや薄い影富士も、剣ヶ峰ではほとんど霧と雲。河口湖五合目へ下山。

⑥ 09年9月10～11日 単独行：

河口湖五合目発、八合目・元祖室泊。久須志神社で御来光。お鉢巡り左回り。ほぼ終日晴れ模様なれど薄い雲があることが多く、剣ヶ峰からアルプス連峰などを望めず。初めて宝永山火口辺りを垣間見て、須走口五合目へ下山し初めて砂走りを体験。

⑦ 10年9月17～18日 文理・物理同級卒生1名と同行：

河口湖五合目発。夕陽による影富士を望み、八合目・元祖室泊。同行者が夜中に高山病となり、布団・毛布を何枚かけても悪寒が止まらず、終日晴天なれど、登頂を断念。悪寒がやや和らぎ山小屋にて御来光を迎え、須走口五合目へ下山。五合目からバスで御殿場へ着く頃には高山病が癒えたようで、温泉入浴し、居酒屋で残念会して帰宅。

⑧ 11年8月27～29日 前年同行者と同行：

同行者の高山病は慢性の貧血症が主因のようとのこと。ルートを変え、ゆっくり歩けるよう山小屋2泊とする。富士宮口五合目(2380m)発、新七合目山小屋・御来光山荘(2790m)泊。ほぼ晴天で、御来光山荘で富士山側面・宝永山からの御来光を迎え、九合目付近では万年雪を望み、山頂・浅間大社奥宮(3720m)へ。剣ヶ峰へはピストン。その後ほとんど薄靄の中だが、初めてブラッケン現象（霧の中に自分の影とその周りに光の輪ができて、自分の影に御光がさしているような光景となる。ドイツのブラッケン山でよく見られる現象で、この呼称が付いている）に数十秒間遭遇し、写真撮影に成功。九合目・万年雪山荘(3400m)泊。山荘で富士山側面近くからの御来光を迎え、富士宮口五合目へ下山。

以上、8年間富士山登山を続けてきました。毎年の天候や登山ルートにより、刻々変化する天空からの眼下・遠方の山々・雲海など、足元のわずかに生える高山植物など、さらに他の山と違って、特に多い外国の人、この数年一段と多くなった山ガール達、飽きることのない楽しい山行でした。

さて、この富士山登山も後2年続けると10回目・古希での登山となりますが、寄る年波には勝てず、昨年からはステッキを使っています。しかし思い起こせば、ワンゲル現役のときは貧弱な体格・体力のため、皆の後をようやく付いていた我が身。また50歳のとき、早くも軟骨摩耗のため膝関節が痛くなり、ランニングが出来ず、ときには階段の上り下りにも難渋するようになってしまいました。このときは、毎日のわずかの運動により筋力などの向上を図り、さらに退職後は特段に運動の負荷・時間を増すことにより、1年位で本格的な登山、マラソンもなんとかできるようになりました。たとえ、はってでも続けたいもの。現在、10回目富士山登山は小・中学同級生に呼びかけ古希記念登山とすることを考えています。ただ、何名が呼びかけに応じてくれるか、あるいは誰も応じる者がいないかも。皆が、自分も元気で登山できることを念じつつ過ごす今日この頃です。

近場散策の巻

関西地区鳳翔会

池田 純

この原稿のため、山歩きを考えていたのですが忙しくて手つかず、そこで今回は家の近所を散策して原稿を書くことにしました。私のいる町は滋賀の甲賀市です。「こうか」と濁らずに発音するのが正式です。お弁当を作ってまず出発最初は最寄りの駅です。20分ほどでJR甲南の駅に着きます。ここは120年の歴史を持つ草津線の夜は無人駅になります。関西圏にありながらICOCAは使えませんので大阪からい

らっしゃる方は気を付けてください。さてこの駅から西へ10分歩くと大きなモニュメントが見えます。天保義民の碑とあります。これは歴史で有名な1842年の近江天保農民一揆の際、この近くの矢川神社に農民数千人が終結し行動に移りました。彼らの義をたたえこのモニュメントが製作されたとあります。

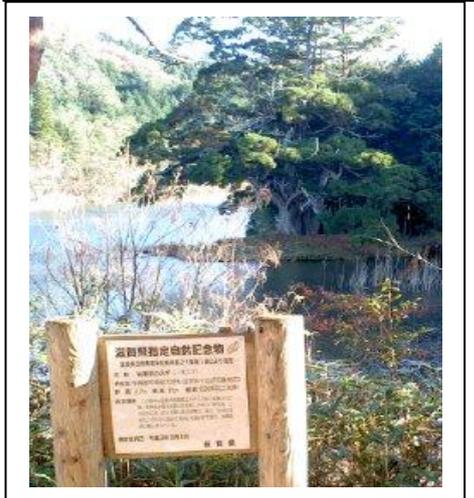
さてここから川を渡り約30分歩くと、右の写真の甲賀流忍術屋敷に着きます。江戸中期に建てられた作りもので無い本物の忍術屋敷で、家の中にはどんでん返し 落とし穴 抜け穴、秘密の中二階といろいろな仕掛けがあります。つい最近まで普通の民家として使われていたのがすごいことだと思います。地元のおじいちゃんが案内してくれましたが、もともと漫画の忍者は全くの嘘っぱちで、殺人は全く行わずもっぱら戦わずして逃げることをモットーとしていたとのこと。この家の仕掛けも賊に襲われたときに逃げさせるように考え出されたようです。近くにはひなびた温泉もありますが今回はよらずに次の目的地へ

ここから歩くこと西へ1時間強途中新名神の高架を見上げながら弱岩尾キャンプ場に着く。ここは三上、田上（たなかみ）県立自然公園で、キャンプ場となっており昔はバンガローもあったのですが、利用者も少なく管理も大変なのか撤去されてしまった。

岩尾池湖畔を歩くと左手に杉の古木が見える。案内板には弘法大師ゆかりの杉とのことなかなか風情があります。池の横の坂を上ると上流側にさらにもう一つ池がありここで箕面から続いている東海自然歩道に合流します。ここから伊勢廻寺へ向かう山道に入ります。やく30分で展望台へ着きますがあいにく天気が悪くてアホ和池のほうへ降りることにしました。雨もばらつきもと来た道に戻って散策終わり。さて今日ご案内の場所は新名神甲南インターからすぐで交通の便も良くなっており以前と比べ訪れる人も増えたようです。次回はもう少し高いところを散策しますのでご期待ください。



甲賀流忍術屋敷



弘法大師ゆかりの杉

「30年前に戻った気分を味わえた！」 ワンゲル50周年記念祝賀会に参加して

2011(H23)年11月5日～6日

山口支部 工学部 S57年卒 田原 宏

ワンゲル50周年の祝賀会に参加できたことで、30年前のワンダーフォーゲル部時代にタイムスリップできた気分でした。

私は大学を卒業してから、近隣の山へ登ったり、山口インターハイの登山競技の手伝い等に参加していましたが、その後は、もっぱら登山よりロードレースや駅伝に本気になっておりました。しかし、練習不足と年齢が重なり、足や膝に故障が生じて、ロードレースからも遠退いておりました。数年前に坂田君からサイクリングに誘われて参加しました。坂田君はすでにOBの八谷さんや三国さんとサイクリングをしており、私は八谷さんと出会ったのは20数年ぶりでした。

皆さんがサイクリングを始めたのは、私と同じように足や膝に故障を生じ、登山の下りがきつくなっただけで、どうにかして山と接したいとの強い気持ちからだそうです。私も、このときからワンゲルの方と接する機会を得て、今回のOB会のトレッキングの手伝いをさせていたくことになりました。

11月5日(土)当日は、天候が悪く、あいにく秋吉台の龍護峰のトレッキングは中止になりました。遠方から参加された方は、残念だったと思います。しかし、その分体力の消耗が少なく済みませんでしたので、祝賀会で存分にお酒が飲めたとし、話もはずんだのではないのでしょうか。

遅くなりましたが、今回の総会に参加された方はOB117名、OBの家族の方が6名、現役22名となり壮大な総会となりました。また、祝賀会では、新川さんに編集していただいた「歌集 鳳翽」に載っている、「旅鳥」、「ワンダーフォーゲルの歌」をみんなで合唱しました。ここで発見したことがあります。私たち世代のメロディと最近の部員のメロディが一部異なっていた箇所がありました。いつ、どのようにして変化したのかはわかりませんが、最近では、時代の変化も早いように、ワンゲルの歌までが変化しているのですね。私も工学部出身ですので、工学部のOBが作詞、作曲した「花ひとつ」を歌ったときは気持ちが高ぶり、久ぶりにジーンとききましたね。ほんとうにすばらしい祝賀会でした。1次会が終了した後は、2階の大広間で、2次会が催されましたが、全員が座れないほど出席されており、特に年配の方が多かったように見受けられました。昔の話も盛り上がっていたことでしょう。この大広間に入れなかった方は、おのこの部屋で2次会を楽しんでおられました。

翌日は、雨もあがり、曇りの中を龍護峰へトレッキングに31名が参加されました。頂上ではガスっていて展望はよくありませんでしたが、そこまでの道程でリンドウなどの植物が花をつけており、接写される方などがおられトレッキングを存分楽しまれたことと思います。帰りには小雨の中を下山しましたが、皆さんが怪我をされることもなく無事下山されましたので、担当の三国さんと肩の荷がおりてホッとしました。皆さんの下山した満足な顔を見て、今回のOB会が無事終了したと感じられた一瞬でした。皆さん、ほんとうにありがとうございました。

近況報告ということで・・・

九州支部 1978年卒 山本玉枝

OB通信への原稿依頼を受けたものの、さて、何を書いていいやら・・・というくらい「山」からは遠ざかった生活をしています。振り返れば、何とも卒業して33年間を経ており、改めてその月日の過ぎゆく早さに驚嘆しているところです。あと数年で退職と思うとこれまたびっくり！本人にしてみれば、大学在学中と気持ちはあまり変わっておらず、成長のあとも有るのやら無いのやら、年月のみ経過したようです。とはいうものの、やはり生活は在学時とはずいぶん違っており、卒業後、中学校数学の教員として職に就きましたが、現在は縁あって特別支援学校の高等部に在籍しています。専ら高等部卒業後の進路決定に関わる支援をするということで進路専科として毎日を過ごしています。あっちの事業所、こっちの事業所、企業回り等々動き回りながら、生徒一人一人の希望する進路先決定の手伝いをしています。行ったこともないような場所に行くことも多いんですが、ナビをつけていない私は、パソコンで検索した地図や街図を見ながら知らない街を行ったりきたりしています。地図の見方は我ながら上手になったなあとうぬぼれるほど地図とは仲良しです。バタバタと日中の仕事を終えた後は、これも断り切れずに、引き受けてしまった組合の執行委員の仕事をしています。現在は福岡支部中部地区の書記長をしており、なんやかやと忙しい限りです。さらに「母と女性教職員の会」という全国規模の組織があるんですが、その会の福岡県代表も務めており、こちらの方も、何かと活動が多く、県内はもとより、東京の全国大会や九州ブロック集会への学習会参加を呼びかけながら、自己研鑽にも努めています。と書けば、すっごいまじめそうに聞こえるでしょうが、知り合いが増えるという点を大切にしながら楽しくやっています。とまあ、以上のような毎日を送っています。「やると決めたら、楽しくする！」をモットーにこれからも過ごしたいと思っていますが、このままでは退職後する事もなく、ポカンとすることが予想されるので、そろそろ、「山」にも時間を割いていきたいなとも思っています。機会がありましたら、お誘いいただけたら嬉しいです。

最後に・・・おもしろくもない近況報告でしたが、最後まで目を通していただきありがとうございました。

第3章

現役活動報告

本部 第51期主将 馬屋原範聡

現役部員の活動報告をさせていただきます。

今年の夏合宿は2パーティーに分かれました。一方のパーティーは北アルプスの常念山脈に、もう一方のパーティーは立山へのワンデリングです。そのためトレーニングは6月から2パーティーに分かれて行い、それぞれのパーティーリーダーとサブリーダーがランニング・筋トレ、もしくはボッカの二つのトレーニングの負荷を考えながら引っ張ってきました。8月11、12日の練成では立山パーティーは山大からゆめタウンを回るコースを2日行い、常念パーティーは山大から地蔵峠、東鳳翔山、ニツ堂を通って山大に帰ってくるコースを1泊2日で行いました。さらに、8月19、20日にパーティーごとに親睦を深めるパーティーワンデリングを行いました。立山パーティーは防府の大平山、常念パーティーは下関の竜王山で、お互いのことやワンゲルのことについて深く話し、それぞれ夏合宿への思いを固めていきました。そして、8月24日に夏合宿へ出発しました。場所の違いと早朝の混雑を避けるために別々の時間に出発しました。アタックザックと青春18切符を携え、電車で揺られながら途中の駅で野宿をして、2日かかりで目的の山域に到着しました。立山パーティーは雷鳥沢にベースキャンプを張り、とことん周囲の山を堪能しました。ただ、剣岳は経験不足な1年が多かったこともあり今回は登りませんでした。一方、常念パーティーは中房温泉からの縦走でした。燕岳登山後に残念ながら体調不良者がでてしまったためエスケープしましたが、このパーティーを引っ張っていた2年や他の1年にとっても良い経験になったのではないのでしょうか。10月には中国四国合同ワンデリングが広島で行われました。参加大学は中国四国から10大学が参加しました。A～Cの3つのブロックに各大学のメンバーがばらばらに分かれて、Aブロックが山行メイン、Cブロックは観光メイン、Bブロックはその中間といった具合でワンデリングを行いました。1年生は初めて他大のワンゲラーに出会い戸惑いもあったようですが、最後にはみんな参加してよかったと口を揃えて言っていました。2・3年生は昨年会った先輩や同期と1年ぶりの再会を喜びつつ、新しい1年生に対してそれぞれの方法で話していました。2泊3日のワンデリングで他大学との重要なつながりを築くことができました。11月23日に学長杯駅伝大会がありました。夏合宿後はこの駅伝大会を目標にトレーニングを行ってきました。1、2年生で構成されたメンバーはそれぞれの担当する区間を走りました。短い区間は2kmから最長のものでは5kmを越えるものもありました。結果は運営側の誘導ミスがあったために失格となってしまいましたが、順調に走っていれば先頭に近い順位でゴールできていたでしょう。非常に悔しい結果となってしまいましたが、来年に向けての目標ができました。

そして現在は春合宿の目的地を決め、それぞれのパーティーごとにトレーニングや目的地、装備等についての勉強会を行っています。2年生はパーティー内の最高責任者でありながらも全力で楽しむために、1年生は夏合宿とはまた一味違ったワンゲルの「旅」を味わうために、各々が先輩とぶつかりながらも様々な準備のために奔走しています。

第4章第

事務局からOB会員の皆様へ

1 OB会費納入について

会費未納の場合は自然脱会となっております。会費のお支払いはお忘れなきようお願い申し上げます。
納入状況につきましては、2011年まで納入で、2012年以降が未納の方に、今回振込みをお願いする紙を同封しております。お手数ですが、郵便振込みにて下記へ納入していただきますようお願い申し上げます。なお、2010年分のOB会費が未納の方は自然脱会(会員名簿から除外)となっております。

口座記号番号 01530-0-16050

加入者名 山口大学ワンダーフォーゲル部

個人会員年会費 2000円

夫婦会員年会費 3000円

会費納入は上記の倍数でお支払い下さいますようお願い申し上げます。

OB会費の納入状況についてのお問い合わせは下記へお願いします。

OB会事務局長

馬屋原

2 入会、脱会について

初めて入会される方、再度入会される方は会費振込を意思表示とさせて頂いておりますので、お手数ですが、前記の口座にお振込み頂きますようお願い申し上げます。会費未納の場合は、自然脱会となりますので、会費のお支払いはお忘れなきようお願い申し上げます。

3 Y.U.W.V ホームページ

山口大学ワンダーフォーゲル部のホームページをご紹介します。OB通信(カラー版)も掲載しているので是非ご覧ください。

Y.U.W.V.ホームページ

<http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/tabidori/>

5 編集後記

編集 菊池武臣

こんにちは。今回も編集を担当させていただきました理学部4年の菊池武臣です。最近は年の暮れということで山口も非常に寒い日が続いています。さて、今年1年OB会の事務局長という立場でOB通信の編集を2度経験させていただきました。その中で山大ワングルの方々というのは日本全国にわたって活躍されていて、そしてワングル魂というものを持ち続けているのだなあ、とひしひしと感じました。特に自分が関わりが深かったOB通信の原稿の編集という場で様々な場所から送られてくる原稿を読んでいると大学を卒業し現役を引退してからも、その心を忘れることなく活動を続けていられるということを感じ、非常に現役のみとしては嬉しく思うと同時に憧れのように自分もいつかそうなれるように頑張ろうと思いました。今現在自分個人としてはそろそろ卒業論文のめどをつけなくてはならなくなってきた次節でございます。正直少しピンチかもしれません。しかし、そこはワングルで培った粘り強く、あきらめない心でより良い結果を得られるように務めていきたいと考えています。

今年1年間未熟でいろいろな方に迷惑をかけてしまったと思います。特に今年は山大ワングル50周年ということで記念式典も開催され、山大ワングルとしては区切りの1年となりました。過去の歴史の凄さを現役一同身に触れて感じることはできたのではないのでしょうか。そんな中で自分はOB会事務局長として現役とOBの方の仲介のような立場でした。にもかかわらず、自分は連絡係として非常に役たたずであり、ここまでこぎつけることができたのもOB会長の山本さんをはじめとする山口支部のOBの方の手助けがあったからだと思います。1年間本当にありがとうございました。